

環境保全行動 報告提出書  
自動車使用管理実施

2023年 7月 31日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所  氏名  (代表者名)	〒 064-0807
	札幌市中央区南7条西15丁目2番24号
	山王建設 株式会社
	代表取締役 松本 一夫

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 第23条第3項の規定により、環境保全行動  
報告書を提出します。

報告期間		2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日				
事業の規模	従業員数	7	人	原油換算した	11.4	kl
	使用床面積	184.65	m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量		
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	6	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	29.4	t-CO <sub>2</sub>	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	メタン	N <sub>2</sub> O
		t-CO <sub>2</sub>	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	PFC	SF <sub>6</sub>	NF <sub>3</sub>
報告書の担当部署		担当部署名				
		担当者氏名				
		電話/FAX				
		電子メールアドレス				
計画書提出根拠		条例第13条(環境保全行動計画)			<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第3項	
		条例第23条(自動車使用管理計画)			<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項	
計画期間		2020年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日				
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり				
備考						

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書  
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2020年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2020年度結果			2021年度結果			2022年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	13.2	5	4	70	○	3.2	76	○	2.8	79	○
	t	%	t	%		t	%		t	%	
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	15.3	3	7.6	50	○	7.3	52	○	8.5	44	○
	t	%	t	%		t	%		t	%	
法令の遵守											
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	
		%		%			%			%	

注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。

2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。

○：目標削減率を達成

△：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成

×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	暖房機器設定温度の工夫により、使用量減少。
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	○	遠隔地の現場により増加、エコドライブ推進。
法令の遵守		法令準所は定期的にチェック済。